

多施設用

(調査 ・ 研究) 実施についてのお知らせ

西暦 2020 年 4 月 30 日

【研究課題名】

虫垂切除後に見つかる虫垂腫瘍症例の検討：臨床情報から術前に腫瘍の存在を予測可能か？ ケース・コホート研究

【研究期間】

総研究期間：4 年間 （予定期間：2020 年 5 月から 2024 年 4 月）

【研究対象】

2006 年 1 月 1 日～2020 年 3 月 31 日 の期間に、虫垂炎の診断で虫垂切除手術を受けられた患者さま

【研究目的・意義】

1. 虫垂炎の診断で虫垂切除術を受けた患者において、術前臨床情報から術前に腫瘍の存在を予測する因子がないかを検討する。
2. 虫垂腫瘍合併の虫垂炎症例を詳しく記述すること（罹患率、年齢、腫瘍組織型など）。

【研究方法】

多施設後ろ向き観察研究：ケース・コホート研究

虫垂炎の診断で虫垂切除術を受けられた患者様全体のコホートを把握し（全体コホート）、そのうちで虫垂腫瘍の併存が病理診断で確認された患者様をケースとして同定。ケースの比較群として、全体コホートからランダムに患者様を抽出し（サブコホート）、ケースとサブコホートの患者様の臨床情報データを比較検討します。

【研究に用いられる試料・情報の種類】

① 研究対象者基本情報：

- 手術年
- 年齢
- 性別
- 既往症

内服薬

② 臨床経過情報：

症状発症から受診までの時間

Alvarado score

右下腹部痛、反跳痛、体温 37.3 度以上、右下腹部への移動痛、悪心嘔吐、白血球

③ 血液検査データ

白血球 1 万以上

白血球分画の左方移動血小板数

CRP

④ 画像データ：

術前 CT 検査の有無

虫垂炎の重症度

⑤ 治療方法：

1. 手術療法：

アプローチ：開腹手術か腹腔鏡手術か

手術時期：緊急手術か、Interval appendectomy か

2. 追加手術の有無

虫垂腫瘍であった場合の追加手術治療の有無と詳細

⑥ 病理組織所見

【外部への試料・情報の提供】

収集したデータは、各研究実施施設内で研究用の新たな番号を付与してデータベース化されます。データは研究代表施設（沖縄県立中部病院）に集約されます。

【個人情報の取扱い】

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名、住所、生年月日などは一切公表しないこととします。データは電子記録とし、そのデータセンター（沖縄県立中部病院）にデータ等は匿名化したうえで保管します。

【研究組織】

研究代表者)

沖縄県立中部病院 外科 桂 守弘

沖縄県うるま市宮里 281 番地

研究事務局)

沖縄県立中部病院 外科医局 部長：村上 隆啓

沖縄県うるま市宮里 281 番地

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院 診療科名：外科 担当者名：桂 守弘

沖縄県うるま市宮里 281 番地

TEL：098-973-4111（代表）